

トノサマガエル と ウシガエル

トノサマガエル



録音 か 写真

水田や池などに広く分布するスマートなカエルです。
近年生息数が減少し、富山県の準絶滅危惧種に指定されています。繁殖期（4～6月）には夜間水田などで、オスが左右のあごの下の袋（めいのう鳴嚢）をふくらませ、大きな声で鳴きます。体長5～9cm。

オスの体は緑色をおび、メスは灰褐色をしています。
どちらにも背中の中央にはっきりとした黄緑または白の線（はいちゅうせん背中線）があります。



トノサマガエル（メス）

背中にたての線がある

近づくとすぐに逃げますので、そっと近づくか、やや遠くから望遠で撮影して下さい。

ウシガエル



録音



食用として持ち込まれた北アメリカ原産の外来種で、別名シヨクヨウガエルとも言います。池や流れのゆるい河川などに生息し、体長11～18cmにもなる大型のカエルです。オスはその名前の通り「牛」によく似た低く大きな声で、繁殖期の5～9月頃に昼夜を問わず鳴きます。

体色は、暗褐色から緑色で、目の後ろに大きな鼓膜があります。

また、ウシガエルのおたまじゃくしは、秋から冬にかけて大きくなり、越冬して翌年変態します。

姿を見つけることが難しいので、**鳴き声を録音**してください。

携帯電話やデジカメの動画機能で5～6秒間撮影（録音）すると、ファイルを送りやすくお勧めです。姿が映っていないなくてもかまいません。